

苦情相談テスト

令和元年度における苦情相談テストの総件数は10件であり、前年度と比べて2件の減少となった。分類別で一番多かったものがクリーニング（被服品）に関するもので4件、40%であった。そのほか、被服品、住居品に関するものが各2件、20%、食料品、教養娯楽品に関するものが各1件、10%であった。

また、10件のうち、原因究明のために独立行政法人国民生活センターへ2件のテストを依頼した。

件数 分類(※)	件数		項目数		検体数		件数/全体(%)	
	R1	H30	R1	H30	R1	H30	R1	H30
食料品	1	1	1	3	3	2	10	8.3
住居品	2	0	3	0	14	0	20	0
光熱水品	0	0	0	0	0	0	0	0
被服品	2	2	3	5	3	2	20	16.7
保健衛生品	0	1	0	8	0	2	0	8.3
教養娯楽品	1	1	2	1	1	1	10	8.3
車両・乗り物	0	2	0	2	0	2	0	16.7
土地・建物・設備	0	1	0	2	0	3	0	8.3
その他の商品	0	0	0	0	0	0	0	0
クリーニング(被服品)	4	4	6	4	14	10	40	33.4
クリーニング(その他)	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	10	12	15	25	35	22	100	100

※分類は、(独)国民生活センターの「消費生活年報」による

<主なテスト事例>

分類	安全性テスト	品質テスト
食料品	ふりかけの異物混入	—
住居品	LED電球の過熱	ジュースの破損
被服品	—	長靴の縦裂け
教養娯楽品	—	モバイルバッテリーの充電機能
クリーニング(被服品)	—	Tシャツの染み など